

閉会中ダイジェスト

6月定例会後の議会閉会中の主な動きをお知らせします。

～西部町村議会議長会研修～

8月18日、西部町村議会主催の議員研修会が開かれました。今年の演題は「『移住女子』はなぜ地方に向かうのか」で、ローカルジャーナリストの田中輝美さんと、島根県に移住された中尾祥子さんが講演されました。

講演の中で、「課題をマイナスに捉える必要がない」「課題があるからチャレンジができる」という言葉がありました。議会活動をする上で、たいへん参考となる研修となりました。



田舎の人情が移住定住の決めて

～視察受け入れ～

本町を視察された議会は、8月に熊本県甲佐(こうさ)町議会、京都府精華(せいか)町議会、10月には岩手県九戸(くのへ)村議会、兵庫県福崎町議会です。

いずれも議会だよりの編集について意見交換を行いました。

今後も、議会だよりの視察を中心に多くの来庁が予定されています。



紙面づくりで意見交換、開山1300年祭のPRも

～認知症サポーター研修会を開催～

10月19日、認知症の人と家族の会の鳥取県支部代表世話人吉野立氏を迎え、「認知症の正しい理解」と題して講演を聞きました。

認知症の定義、現状と対策、さらに高齢化が進む中、いかに地域の活力を維持していくかなどを勉強しました。

いつ介護する側される側になるかわかりません。引き続き私たちもこの問題に深くかかわっていきます。



核家族化と高齢化で切実なテーマとなった研修会

基金運用と今後の財政運営に関する調査特別委員会をスタート

6月定例会で立ち上げた特別委員会は、8月1日を皮切りに、現在4回開き、今後も毎月1回のペースで進める予定です。

現在の基金運用の現状や、課題を一つひとつ精査していきます。

また、条例や地方自治法などとの法的な問題点はないかなど、幅広く検証します。

今後、委員会では多方面の専門家などにも来てもらい、将来像を明らかにしていきます。



議員同士の熱い議論を続け、より良い町へ